

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第 16 回広報・県民運動専門委員会 議事録（概要）

1 日時

令和元年(2019年)12月10日(火) 10:00～11:30

2 場所

滋賀県大津合同庁舎 7-C 会議室

3 出欠状況

委員 27 名中 16 名出席

出席：井口 貢委員長、東 登志也委員、池田 千晶委員、井尻 正志委員、板倉 成子委員、
上村 照代委員、清水 純一郎委員、中村 俊英委員、中村 康春委員、西村 綾子委員、
野村 智洋委員、藤井 晃一委員、松田 千春委員（代理：出口様）、宮本 英樹委員、
村松 泰委員、吉成 永部委員

欠席：上田 重和副委員長、糸井 孝実委員、市岡 新也委員、北川 肇委員、
坂田 しのぶ委員、高山 幸生委員、寺田 佳司委員、馬場 大輔委員、廣瀬 香織委員、
松田 規久子委員、八木 兵次郎委員、

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

審議事項（1）

※事務局から「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会県民運動アクションプログラム（素案）」について説明。委員より以下の意見があった。

【質疑】

<委員>

スケジュール案で検討期間と実施期間で時期が分けられているが、具体的なイベント等をイメージして時期を分けられているのであれば、例を示していただきたい。

<事務局>

例えば、特産品等のブース設置であれば、本大会をイメージしており令和 5 年度に出展業者の調整等の検討を行い令和 6 年に実施することとなっている。またホームページといった既存の取り組みについては、令和 2 年度から実施期間となっている。手作りのぼり旗や横断幕については、本大会に設置を想定しており、前年度までに検討を終え、当該年度に実施となっている。

<委員>

最近では、学校でもダンスを授業に取り入れていたりして、かなり普及してきている。イメージダンスも部活や地域のスポーツクラブに取り入れて、後に残るようなものになればよい。例えば、キャッフィー杯といった形でダンス文化というものが滋賀県に残っていくようなものに

なればよい。

<事務局>

現在では、中学校・高校のカリキュラムの中にダンスが入ってきている。そういった中で、イメージダンスを授業の中で取り入れたり、地域のお祭りなどのイベントで踊っていただいたりしている先催県もある。そのような取り組み方でいただいたご意見を生かしていきたい。

<委員>

県の広報誌については、現在2ヶ月に1回の発行になっており、広報誌に記事を掲載する際には事前に事務局とすり合わせをして、上手く掲載できるよう調整していきたい。

アクションプログラムでは、広報誌やホームページ、SNSなど色々な媒体を使って発信することとなっているが、それぞれの媒体によって若者向けや県外の方向けといった特性があるので、どのような層にどんなアプローチをするのかといった戦略も入れたほうがよい。

<事務局>

どこに向けて発信していくのかといったことについては、両大会を契機にスポーツに取り組んでいただける方が増えるように発信していきたいので御協力をお願いしたい。

<委員>

クリーンアップ運動などできれいにするのはもちろんだが、使い捨てを減らし資源を有効につかう、ごみを分別するといったできるだけゴミを出さないような取組をするということをいれてはどうか。

<事務局>

資源の有効活用や3Rといったことをどこかに盛り込めないか検討してみたい。

<委員>

宿泊施設や公共交通機関のバリアフリー対応状況を発信するとあるが、その前に障害者が宿泊施設や公共交通機関を使いやすくなるように整備をするよう呼びかけることが必要。

啓発活動の中に障害者スポーツコーナーを設置するとあるが、どのようなものをイメージしているのか。

<事務局>

宿泊施設や公共交通機関等については、様々な障害特性に応じた研修や講習を行い、施設についても必要に応じてバリアフリー化を呼びかけてまいりたい。

障害者スポーツコーナーについては、現在もイベントをする際にはボッチャ等皆さんが取り組みやすい体験コーナーを設置しているところ。また、市町や様々な団体等が実施されるイベントではパラスポーツの体験ブース設置や情報発信をされているところ。

趣旨としては、そのような体験ブースや情報発信を行ってまいりたいということである。

<委員>

オリンピック・パラリンピックでもボランティアは重要な位置づけをされているが、国スポ・障スポではどのくらいの規模でボランティアを募集するのか。

ボランティアの育成についても来年度から取り組まれるということだが、どのような計画で取り組まれるのか。

<事務局>

先催県では、6,000人規模で募集している。学生にもボランティアのお願いをするが、ボランティア活動を推進している企業や各地域の社会福祉協議会といったところにもお願いし

てまいりたい。

手話・要約筆記といった専門的な技能がいるものについては来年度から計画的に養成してまいりたい。また、一般のボランティアについても、大会が近づいてきた際には、核になっていただける方に対し、様々な講習会を行ってまいりたい。

現在、再来年のワールドマスターズゲームズ関西に向けボランティアの登録を行っているので、そういったものも活用しながら準備を進めるとともに、両大会終了後もスポーツボランティアというものが根付くように取り組んでまいりたい。

<委員>

イメージソング・ダンスにより心をひとつにして盛り上げますとあるが、イメージソング・ダンスの制作スケジュールはどうなっているのか。

<事務局>

イメージソング・ダンスの制作については、今年度末あるいは来年度初めにイメージソング・ダンス部会を立ち上げ、一般公募にするのか業務委託にするのかといったことも含め検討してまいりたい。3年前には各学校や団体等を訪問し、ダンスの講習会を行うなどの普及活動を実施してまいりたい。

説明・報告事項（1）

※事務局から「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催内定イベントの結果」について説明。

【質疑応答なし】

説明・報告事項（2）

※事務局から「募金箱ステッカーデザイン・ポスターコンクールの結果」について説明。

【質疑】

<委員>

高校生については応募が3件だが全校に案内を送ったのか。

<事務局>

県内の全高校に送付している。夏休みは同じようなコンクールが集中しているほか、高校生には美術の宿題がないため、美術部の生徒に学校から声をかけていただき、各コンクールの中から生徒が好きなものを選ぶといった状況。

<委員>

特別支援学校にも案内はしたが、作品は0件だという理解でよいか。

<事務局>

そのとおり

説明・報告事項（3）

※事務局から「モザイクアートポスター写真募集」について説明。

【質疑応答なし】

以上